



がくしゅうしゃ

学習者のページ

すうじ

2 数字

きょうしつ れんらくさき

●教室の連絡先

でんわばんごう
電話番号



-

-

0

1 11

2 12

3 13

4 14

5 15

6 16

7 17

8 18

9 19

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

200 300 400 500 600 700 800 900 1,000

2,000 3,000 4,000 5,000

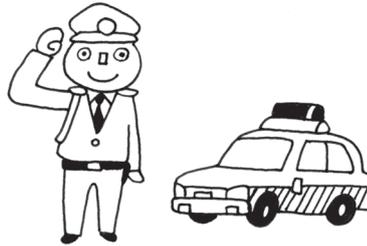
6,000 7,000 8,000 9,000 10,000

100,000

1,000,000

10,000,000

100,000,000

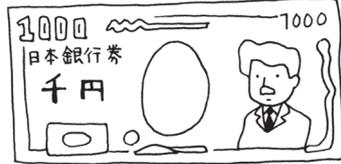
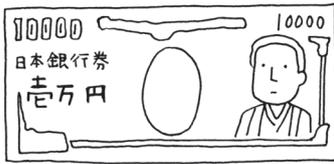




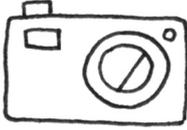
がくしゅうしゃ
学習者のページ

すうじ
2 数字

かね
● お金



● いくらですか？

<p>にほん ねだん 日本の値段</p> <p>¥ _____</p>		<p>あなた<small>くに</small>の国の値段</p> <p>_____</p>
<p>¥ _____</p>		<p>_____</p>
<p>¥ _____</p>		<p>_____</p>
<p>¥ _____</p>		<p>_____</p>

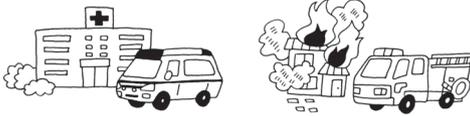


パートナー 支援者のページ

2 数字

●教室の連絡先

電話番号 - -



救急車
☎ 119

火事
☎ 119



警察
☎ 110

0										
1	11									
2	12									
3	13									
4	14									
5	15									
6	16									
7	17									
8	18									
9	19									
10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
	200	300	400	500	600	700	800	900	1,000	
	2,000	3,000	4,000	5,000						
	6,000	7,000	8,000	9,000	10,000					
										100,000
										1,000,000
										10,000,000
										100,000,000

まず、教室の電話番号をパートナーのあなたが書いてください。
学習者が自分の住所や電話番号が言える場合は言ってもらって、数字の練習をしましょう。

緊急時の電話番号
119番と110番を覚えましょう。

数字の一覧表を使って、数の練習をするのもいいですが、ここで一覧表の数を全部言えるようにする必要はありません。

発音は学習者自身が自分で空白に書きこむといいでしょう。

2つの言い方がある数字

- * 0 (ゼロ・れい)
- * 4 (よん・し)
- * 7 (しち・なな)
- * 9 (きゅう・く)
- * 14 (じゅうよん・じゅうし)
- * 17 (じゅうしち・じゅうなな)
- * 19 (じゅうきゅう・じゅうく)
- * 70 (しちじゅう・ななじゅう)と「びゃく」「ぴゃく」や「ぜん」など、読み方が変わるところに **網掛け** をしています。

学習者に「欠席する時は、教室に連絡してください」と伝えているところは多いです。教室の連絡先、電話番号を使って、数字を学習しましょう。

また、災害にあった時や緊急時にかかる電話番号はとても大事ですね。

他にも、外国人相談窓口の電話番号もチラシなどを使って伝えるなど、工夫をしてください。

数字の読み方を練習する場合も、表を順番に読むより、身近な例を使って楽しみながら練習しましょう。



パートナー 支援者のページ

すうじ 2 数字

●お金



●いくらですか？

にほん ねだん 日本の値段		あなた のくに ねだん あなたの国の値段
¥ _____	 ペットボトルの水	_____
¥ _____	 ハンバーガー	_____
¥ _____	 デジタルカメラ	_____
¥ _____	 散髪	_____

日本のお金の種類、言い方を紹介しましょう。

お金は、あれば実物を使ったほうがわかりやすいかもしれませんね。

学習者の国のお金の話も聞いてみましょう。

学習者の国にもありそうなものやサービスを例にあげて、値段をくらべてみましょう。

ここで、
「いくらですか？」
「〇〇円です」
「高いです」
「安いです」
などのことばを使って会話ができるようになればいいですね。

日本はまだまだ物価が高い国です。

お金の種類がわかるようになったら、お互いの国のお金の話や値段を比べるなど、会話をはずませましょう。例にあげているのは水やハンバーガーなどですが、ほかにも具体例をあげて話をしましょう。その時に、学習者の国の通貨を円に換算して、大体の金額がわからなければ、どちらが高いか安いかわからない場合もあるかもしれませんね。

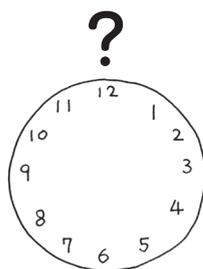
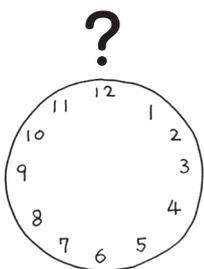
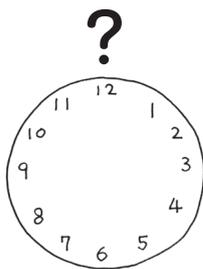
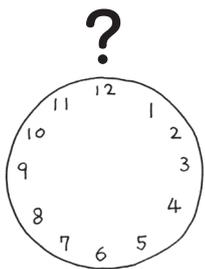
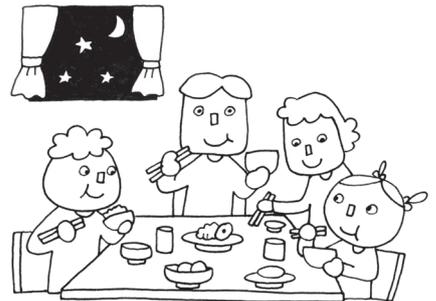
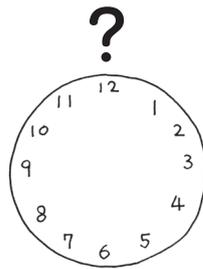
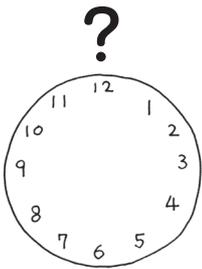
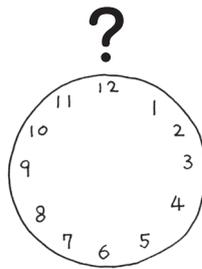
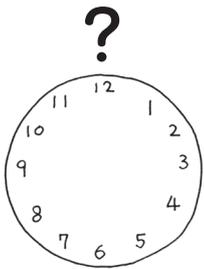
二千元札は最近あまりみかけませんが、時々おつりでもらうことがあります。日本のお金の種類を紹介するときには、二千元札のことも忘れずに紹介しましょう。

ちなみに、日本のお札には左下に目の不自由な人にもわかるように、Lや●、■などの形の凹凸がありますよ。ご存知でしたか？



すうじ とけい
2 数字・・・時計

●何時ですか？(何時に～ますか？)



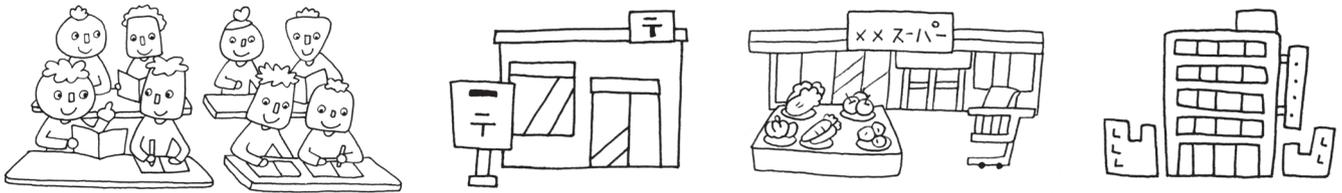
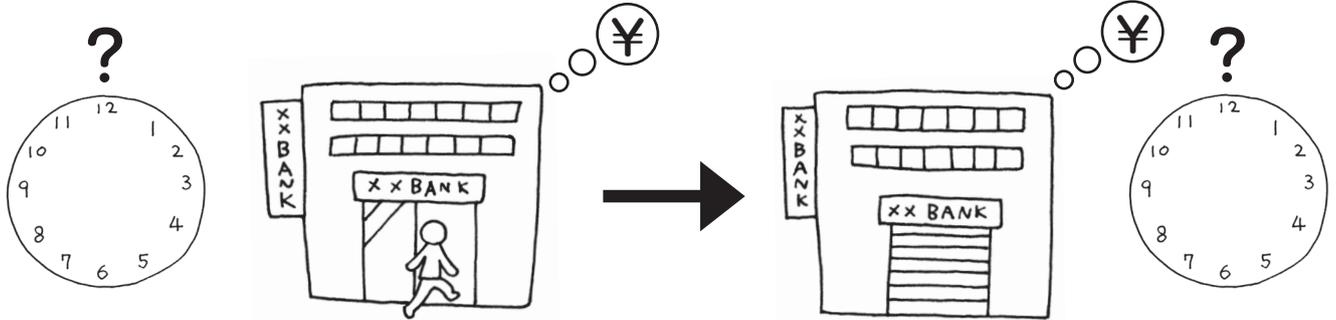


がくしゅうしゃ

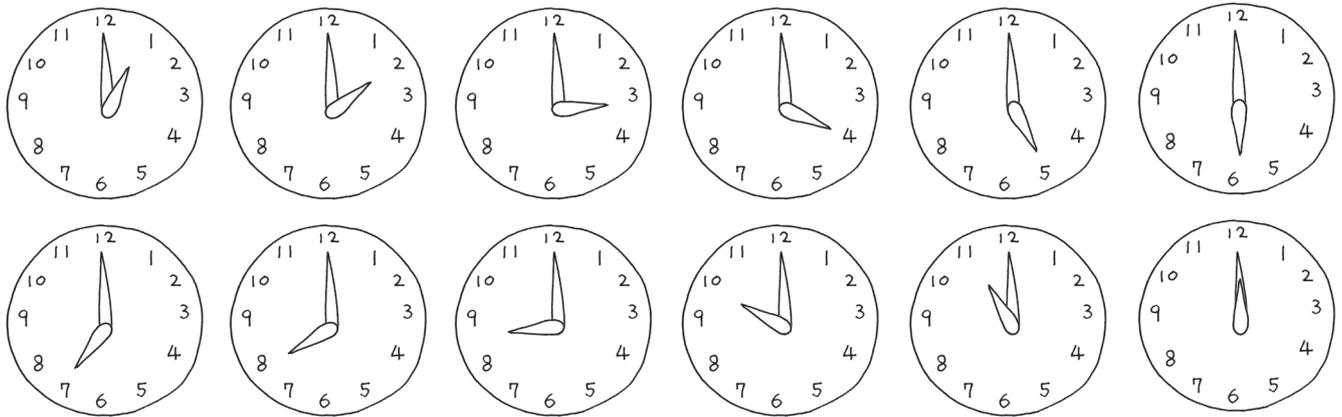
学習者のページ

2 数字 . . . 時計 (時間)

● 何時から何時までですか？



● 何時 何分 ??



- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 : 01 | 1 : 06 | 1 : 15 | 1 : 40 |
| : 02 | : 07 | 1 : 20 | 1 : 45 |
| : 03 | : 08 | 1 : 25 | 1 : 50 |
| : 04 | : 09 | 1 : 30 | 1 : 55 |
| : 05 | : 10 | 1 : 35 | |



パートナー 支援者のページ

2 数字・・・時計



●何時ですか？(何時に～ますか？)



朝起きる



学校から帰る



朝ごはんを食べる



晩ごはんを食べる



会社へ行く



お風呂に入る



学校へ行く



寝る

教室の時計や腕時計を見て、「今、何時ですか？」と聞いてみましょう。
うまく答えることができるでしょうか？

絵を見ながら、あなたが何時にするか、時計の針を書いてみましょう。

学習者の人にも書いてもらいながら話しましょう。

学習者の方が働いている場合と働いていない場合、夫や子どもがいる場合といない場合などで、一日の行動にも違いがありますね。時計の針を書きながら、「何時に起きますか？」など聞いてみましょう。

外国では、朝にお風呂に入る(だいたいシャワーを浴びるだけという習慣)のが一般的です。イラストの順番どおりではない人も多いかもかもしれませんね。

時計の針を書いただけでは、朝か夜かわからないときは、8 ページの あさ ひる よる のイラストを使ってください。

絵のほかにも、何時に何をするか、色々な場面を考えて話しましょう。

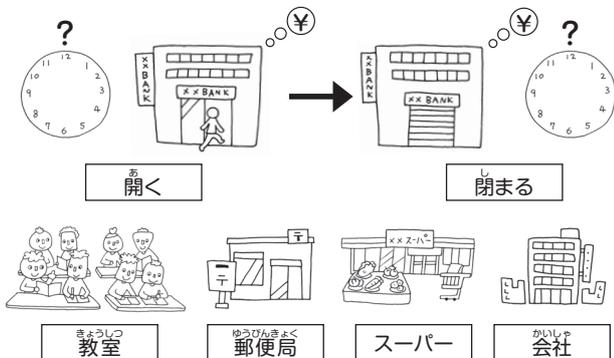
ここでは、時間の言い方を練習しますが、1 日の行動について色々話がはずむと、文化や習慣の違いなど、おもしろい話がきけるのではないのでしょうか。



パートナー 支援者のページ

2 数字・・・時計(時間)

●何時から何時までですか？



●何時 何分??



1:01	1:06	1:15	1:40
:02	:07	1:20	1:45
:03	:08	1:25	1:50
:04	:09	1:30	1:55
:05	:10	1:35	

生活の中で、「何時から何時まで」ということが必要な場面はたくさんありますね。

例えば、銀行の開く時間と閉まる時間を時計の針を書いて話しましょう。

教室の学習時間を例にあげてみましょう。

郵便局や、いつも買い物をするスーパーの利用できる時間についても「何時から何時まで」か話しましょう。

時計の読み方を練習してみましょう。

「ぶん」と読むところは **網掛け** にしています。

「8分」は「はっぶん」と「はちぶん」の両方の言い方があります。

初めての人には「ぶん」だったり、「ぶん」だったり、むずかしいですね。

「30分」は「^{はん}半」という言い方もありますね。

長く日本に住んでいる外国人の方でも「いっぶん(1分)、にぶん(2分)・・・」と言ってしまふことがよくあります。

時計の読み方を一度にすべて覚えることはできません。間違えても意味はわかるから大丈夫と励ましてあげるのも大事ですね。

また、もともと自分の国のことばでも、時計を読むことができない人もいます。パートナーの方は相手のことを理解しながら学習を進めるよう心がけましょう。

時間の感覚は、日本人と外国人では違うことが多いですが、仕事や待ち合わせなど、いつも遅刻ばかりしていると信用をなくしたり、相手が怒ったりしてしまいます。

時間のことを色々話しながら、日本の習慣をわかってもらうきっかけになるといいですね。



がくしゅうしゃ

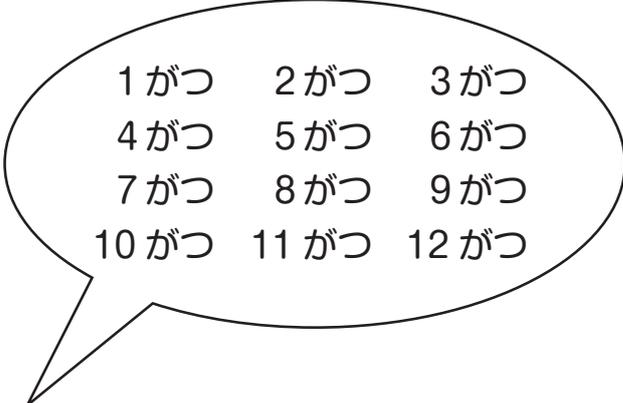
学習者のページ

2 数字・・・カレンダー

●何月

●何日

●何曜日



CALENDAR

1 月

にちようび	げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび
	1 ついたち	2 ふつか	3 みっか	4 よっか	5 いつか	6 むいか
7 なのか	8 ようか	9 このか	10 とおか	11 じゅういちにち	12 じゅうににち	13 じゅうさんにち
14 じゅうよっか	15 じゅうごにち	16 じゅうろくにち	17 じゅうしちにち	18 じゅうはちにち	19 じゅうくにち	20 はつか
21 にじゅういちにち	22 にじゅうににち	23 にじゅうさんにち	24 にじゅうよっか	25 にじゅうごにち	26 にじゅうろくにち	27 にじゅうしちにち
28 にじゅうはちにち	29 にじゅうくにち	30 さんじゅうにち	31 さんじゅういちにち			

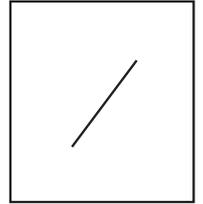
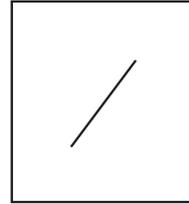
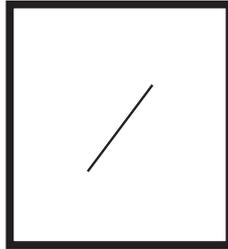
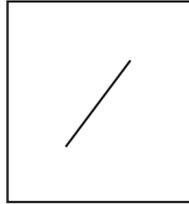
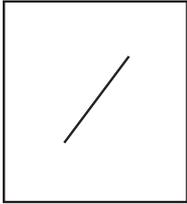


がくしゅうしゃ

学習者のページ

2 ^{すうじ}数字・・・カレンダー

● ^{きょう}今日は何月何日ですか？



おととい

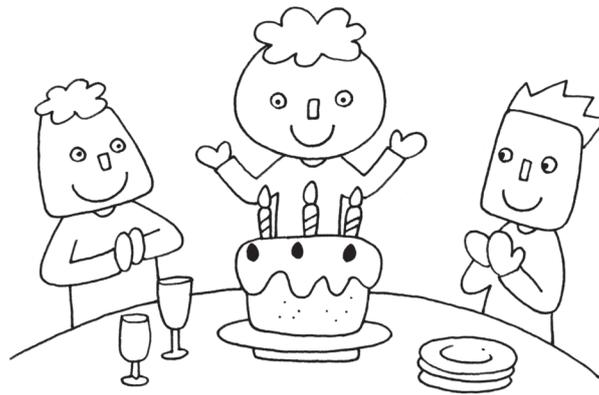
きのう

きょう

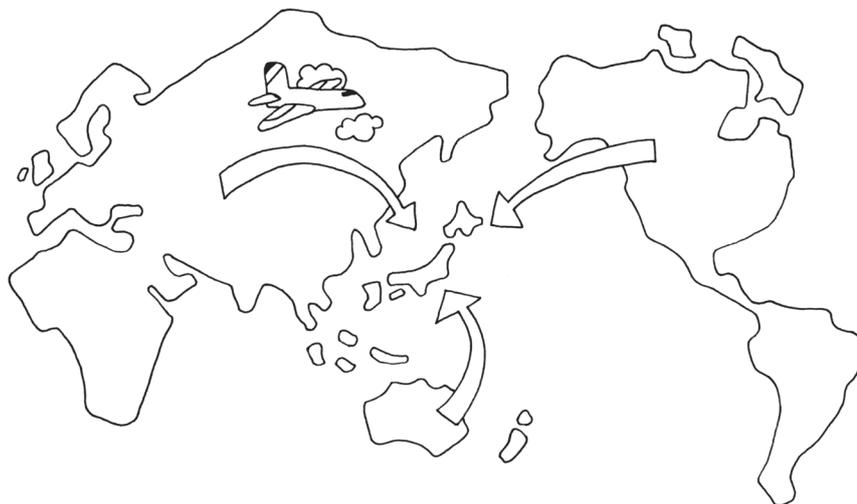
あした

あさって

● わたしの ^{たんじょうび}誕生日



● ^{にほん}いつ日本にきましたか？





パートナー 支援者のページ

2 数字・・・カレンダー

●何月

●何日

●何曜日

1がつ 2がつ 3がつ
4がつ 5がつ 6がつ
7がつ 8がつ 9がつ
10がつ 11がつ 12がつ

CALENDAR						
1月						
にちようび	げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび
	1 ついたち	2 ふつか	3 みつか	4 よつか	5 いつか	6 むいか
7 ななか	8 ようか	9 ここのか	10 とおか	11 じゅういちにち	12 じゅうににち	13 じゅうさんにち
14 じゅうよつか	15 じゅうごにち	16 じゅうろくにち	17 じゅうしちにち	18 じゅうはちにち	19 じゅうくにち	20 はつか
21 にじゅういちにち	22 にじゅうににち	23 にじゅうさんにち	24 にじゅうよつか	25 にじゅうごにち	26 にじゅうろくにち	27 にじゅうしちにち
28 にじゅうはちにち	29 にじゅうくにち	30 さんじゅうにち	31 さんじゅういちにち			

教室にカレンダーがあれば使いましょう。

ほとんどのカレンダーで、祝日は日曜日と同じ色の字です。学校や銀行など日曜日と同じように休みだということを伝えましょう。

日にちの読み方で、特別な読み方をしているところ(1～10、14、20、24)に、網掛けをしています。

学習者にとっては、むずかしいです。一度におぼえようとしなくてもいいですね。

できれば曜日の練習もしてみましよう。

日本のカレンダーは日曜日が左端にあるものが多いですが、外国のカレンダーは月曜日が左端にくるものが多いようです。

最近では、日本でもカレンダーや手帳に外国と同じように月曜日が左端になっているものもあります。教室のカレンダーや手帳のカレンダーはどうですか？学習者の国ではどうでしょう？

日にちの読み方はむずかしいかもしれませんが、「日本語はおもしろい」と感じる人もいます。17日は「じゅうしちにち」とだけ書いていますが、「じゅうななにち」という場合もありますね。27日も同様です。

曜日の学習では、週に1度の教室開催の曜日だけでも覚えられるといいですね。学習者にとって普段の生活に必要なことから練習できるように工夫してください。



パートナー 支援者のページ

2 数字・・・カレンダー

●今日は何月何日ですか？



おととい

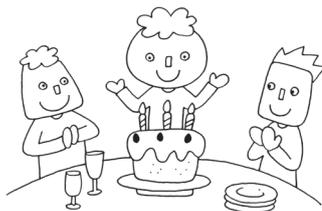
きのう

きょう

あした

あさって

●わたしの誕生日



●いつ日本にきましたか？



最初に真ん中の□に今日の日をちを書きましょう。

ひとつ左の□には昨日の日付を、その左横にはおとといの日付を書きましょう。

同じように、今日の日付の右には明日の日付を、その右横にはあさっての日付を書いてみましょう。

❗ 注意

国によって2月1日を2/1と書いたり、数字を逆に1/2と書いたり違います。

「今日」「昨日」「おととい」「明日」「あさって」が練習できればいいですね。

あなたの誕生日をおしえてあげましょう。

学習者の誕生日を聞きましょう。

何月何日と言えたでしょうか？

絵を見て、いつ日本にきたか聞いてみましょう。

必ずしも日にちで答える必要はありません。何年前という言い方でこたえるかもしれませんね。

教室のある日の曜日が言えるようになって、「来週休みます」ということが言えたらいいですね。□の中に入れる日にちを変えて、練習してみてください。少しむずかしいかもしれませんが、「先週」と「来週」は教室ではよく使うことばですから、試してみてください。

誕生日の話から話題がひろがるかもしれません。年齢を聞くのは、相手が女性でも失礼ではない国もあります。あなたの年齢を聞かれるかもしれませんね。

いつ日本に来たかは、よく聞かれる質問なので、答えることができるように練習できたらいいですね。

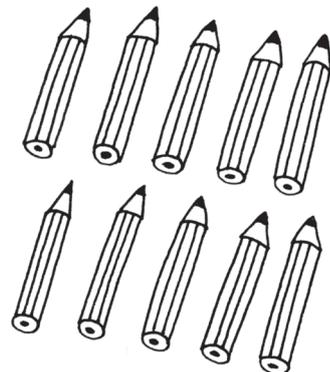
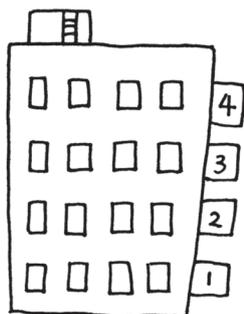
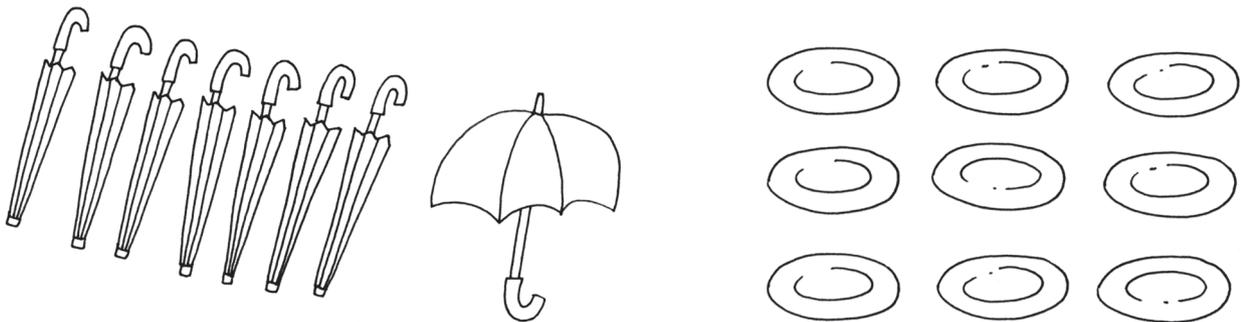
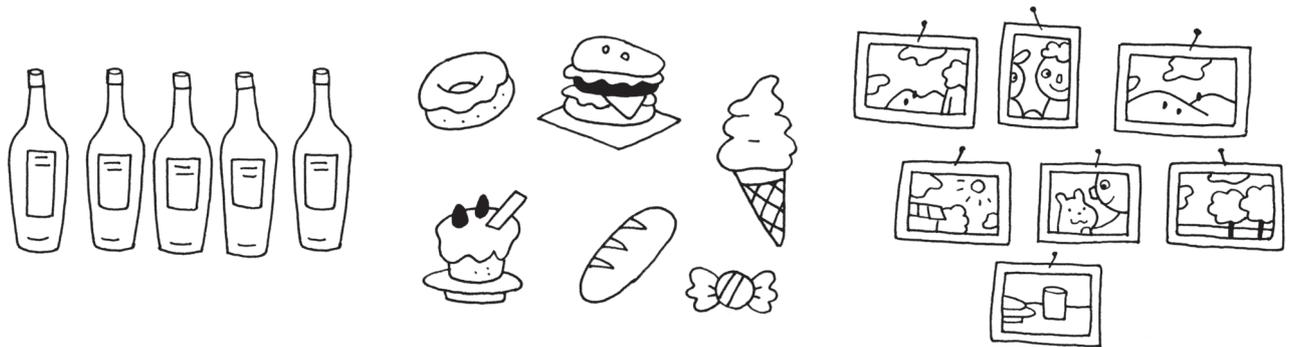
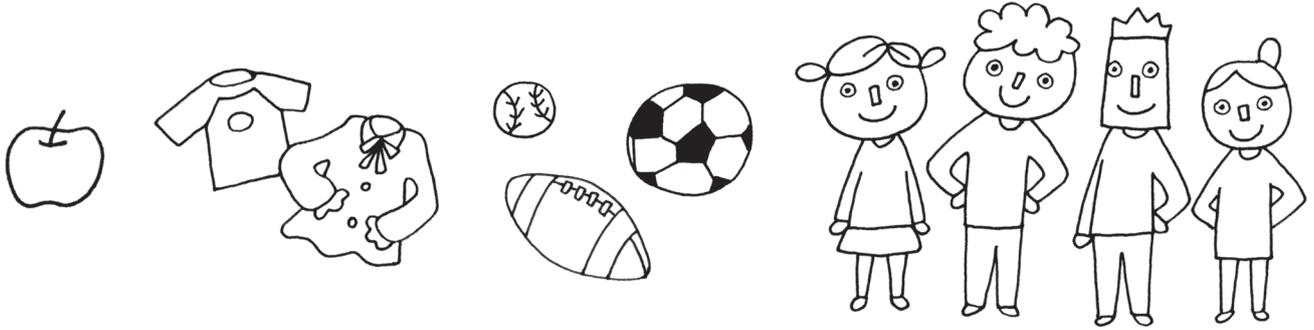


がくしゅうしゃ

学習者のページ

2 数字・・・物をかぞえる

●かぞえてみましょう





がくしゅうしゃ

学習者のページ

2 数字・ ・ ・ 物をかぞえる

●どこにありますか？

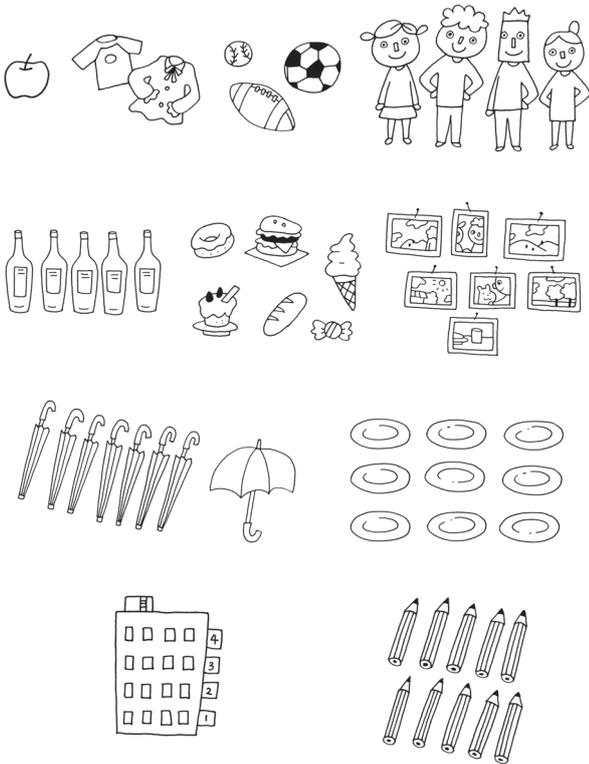
	7F
	6F
	5F
	4F
	3F
	2F
	1F
	B1
	B2



パートナー 支援者のページ

2 数字・・・物をかぞえる

●かぞえてみましょう



始めに、前のページの<かぞえかた>
(助数詞表)をみましょう。

声にだして、かぞえる練習をしましょう。

絵をみてかぞえる練習をしましょう。
わからない時は助数詞表を使ってく
ださい。

<絵の解説>

りんご = 1 個
 シャツ・ブラウス = 2 枚
 ボール = 3 個
 人 = 4 人
 ビン = 5 本
 パンや飴など = 6 個
 写真 = 7 枚
 傘 = 8 本
 皿 = 9 枚
 鉛筆 = 10 本
 ビルの 1 階・2 階・3 階・4 階

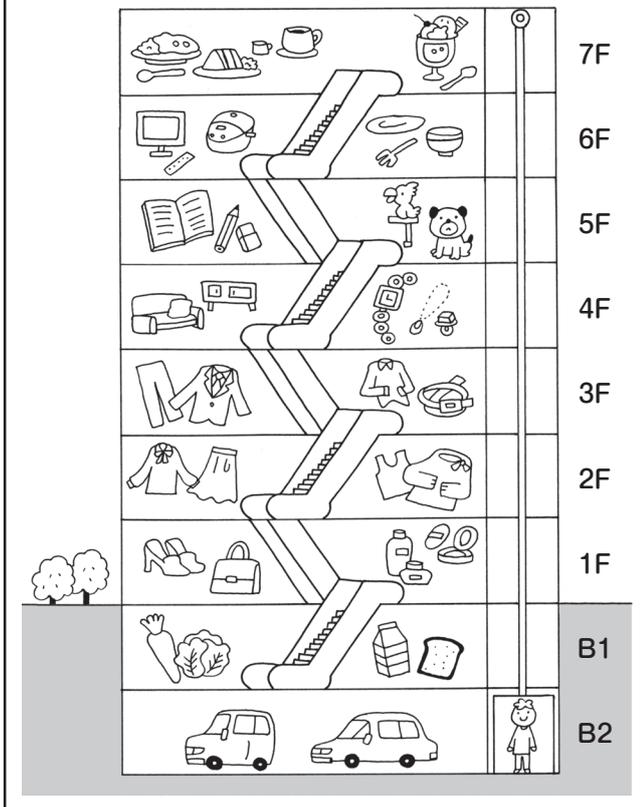
日本語にはたくさんの助数詞があります。

なかには日本人にとってもむずかしいものがありますね。ここでは簡単な「個」「枚」「人」「本」「階」を練習しますが、他にも学習者に身近なものがあれば、どんどん増やしていきましょう。ただし、学習者が必要なことばかどうか、興味をもっているか、むずかしいと感じて学習意欲をなくしそうかを判断し、それぞれの学習者に合った学習の仕方、臨機応変に対応しましょう。もし、学習者がむずかしいと感じていたら、助数詞が言えなかったら、「指で数字を示して『パンを1いちください』と言っても相手がかれば大丈夫」というくらいに、むずかしくて頭をかかえてしまうことのないようにしてはどうでしょう。ただし、人数に関しては、「1人(ひとり)」を「1個(いっこ)」とかぞえるのは、さけたほうがいいでしょうね。



パートナー 支援者のページ

2 数字・・・物をかぞえる
●どこにありますか？



デパートに買い物にでかけたつもりで、
会話しましょう。

買いたい商品が何階にあるか、たずねて
みましょう。

前のページで学習した助数詞もうまく
いえるでしょうか？

絵をみて話すときに、“人や動物”は「い
ます」、 “物”は「あります」と言い方が違
うことを伝えましょう。

エレベーターの階の表示は日本では1階なら「1」または「1 F」ですが、国によっては1階が「G」、2階が「1」と表示するのが一般的というところもあります。そうした国からきた人は、最初は少し戸惑うかもしれませんね。

デパートでは商品の売り場はだいたい絵のようになっていて、地下は食料品の売り場になっていることが多く、「デパ地下」ということばもよく耳にしました。でも最近では1階に食料品があり「デパ1」というそうですよ。

あなたや学習者が行くデパートの話題などで、物の名前や数え方を楽しく学習してください。